



参考資料 4



環境省の取組について

環境省自然環境局国立公園課国立公園利用推進室



国立公園等利用等推進事業費 (7)国立公園等における子どもの自然体験活動推進事業



【令和6年度予算額 5百万円（5百万円）】

国立公園等において子どもの自然体験活動を推進し、子どもの生きる力・豊かな人間性の形成につなげます。

1. 事業目的

- ① 国立公園等における子どもの自然体験活動の推進体制や自然体験プログラムの充実、受入体制の強化
- ② 子ども自然体験活動の受入に伴う交流人口の増加、地域活性化
- ③ 子どもの生きる力、豊かな人間性の形成

2. 事業内容

・子どもたちが自然とふれあう機会の創出は、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養い、人と人とのつながりの大切さを認識するとともに、生きる力を育むことにつながる。

・国立公園等における子ども自然体験活動の推進体制及び受入体制の強化を図るために、地域住民や自然学校等民間事業者と協力し、以下の取組を推進。

- 地域の自然体験フィールドの調査・整理
- 持続的な自然体験活動推進のための計画作成、人材育成、受入環境の強化
- 地域の子どもたちを対象にした自然体験プログラムの提供・充実

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 平成27年度～

4. 事業イメージ



地域ならではの自然や風習を生かした自然体験フィールドとしての「遊び場」を調査・整理



持続的な自然体験活動推進のための計画作成、人材育成、受入環境の強化



地域の子どもたちを対象に、自然アクティビティや農林漁業体験などの自然体験プログラムを実施。（子ども農山漁村プロジェクト）



【令和6年度予算額 9百万円 (9百万円)】

国民への国立公園等における自然環境の保全、適正な利用等への浸透を図ります。

1. 事業目的

- ① 人と自然との豊かなふれあいが保たれること。
- ② 国立公園や長距離自然歩道等での自然とのふれあいの場の提供
- ③ 子どもたちが国立公園等学校外で五感で感じる体験活動の推進

2. 事業内容

- ・全国の地方環境事務所における山や里、川、海などをフィールドとした、自然ふれあいプログラムの実施
- ・自然環境調査、外来生物駆除などのレンジャーの仕事体験の機会提供
- ・パークボランティアの連絡会議等の開催

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者
- 実施期間 平成19年度～

4. 事業イメージ



国立公園等利用等推進事業費

(2) ロングトレイル体制強化等推進事業費



【令和6年度予算額 49百万円（27百万円）】

ロングトレイル(長距離自然歩道)の管理への民間参画の推進により、安定した道の維持・運営システムを構築します。

1. 事業目的

- ① 全国のロングトレイルの利用者数増加及び震災前の水準（約700万人/年）への三陸復興国立公園利用者数回復
- ② トレイルの協力者や関係する団体の増に資する。
- ③ モニタリングで得た自然環境の現状発信による民間参画を通じ、安定した「路線の維持、運営のシステム」の構築

2. 事業内容

地域民間事業者等の参画による維持体制の強化を行うほか、新型コロナウイルスの影響により自然の中での体験が再認識される中で、CO2を排出せずに心身の健康にも通じるロングトレイルの利用を新たな価値として発信。特にみちのく潮風トレイルについては、復興支援の観点からも継続した事業を実施。

①ロングトレイル体制強化推進事業

みちのく潮風トレイル等について、地域の参画によるサービスの向上と交流人口の拡大、民間企業等との連携強化を図るため、より安定した「道の維持、運営のシステム」を構築

②自然環境モニタリング

トレイルには重要な自然環境も存在することから、周辺のモニタリングを実施。結果や手法については全国への発信も検討し、地域住民や民間事業者等の「路線の維持、運営のシステム」への参画を促す。

③ロングトレイル活用推進事業

全国の自然公園ロングトレイルの現状把握を踏まえ、必要な普及啓発方法の検討等を行い、その活用を推進する。

④みちのく潮風トレイル周年行事開催事業（新規）

みちのく潮風トレイル全線開通より5年の節目をとらえ、関係者の連携強化とトレイルの情報発信、利用の促進を図るためのイベントを開催する。

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
民間事業者・団体
- 実施期間 令和3年度～令和7年度（予定）

4. 事業イメージ

①ロングトレイル体制強化推進事業



みちのく潮風トレイル等において、地域のトレイル管理への参画を促進するため、以下の取組を実施。

- ・トレイルオアシス制度の創設
- ・トレイルキーパー制度の創設
- ・応援団の創設
- ・企業との連携 等

②自然環境モニタリング



みちのく潮風トレイル沿線の地元の関心が高い場所等においてモニタリングを行い、トレイル管理への参画を促すよう発信（写真は重点地区でのベルトトランセクト調査の様子）。

国立公園のブランドプロミスとブランディング活動

ブランドメッセージ

その自然には、物語がある。

提供価値

多様な自然風景と、生活・文化・歴史が凝縮された物語を知ること、忘れられない唯一無二の感動や体験ができる。

ブランドプロミス (国立公園が来訪者・地域に約束すること)

◎感動的な
自然風景



◎サステナビリティ
への共感



◎自然と人々の物語
を知るアクティビティ



◎感動体験を支える
施設とサービス



ブランディング活動 (ブランドプロミスを実現し続けるため、環境省が地域・関係者と一緒に取り組むこと)

- ①自然・生活・文化・歴史を把握し、物語（ストーリー）を明らかにし、保護と利用の方針を定め、行動計画を作成します。
- ②地域のコーディネーターとして、地域の多様な主体と一体となって公園管理や魅力の発信に取り組みます。

③自然の風景や野生生物、生態系を保護・再生します。

※二次的自然の維持管理も含む

④利用のルール、限定体験、利用者負担等に取り組み、公正な利用とその対価が保護に再投資される仕組みをつくります。

⑤脱炭素化や地産地消などに取り組み、持続可能な地域づくりに貢献します。

⑥物語(ストーリー)に沿った魅力的な自然体験コンテンツと体験コースをつくります。

※物語（ストーリー）とは、自然・暮らし・文化など地域の資源をつなぎ、その風景地の成り立ちや価値を伝えるもの

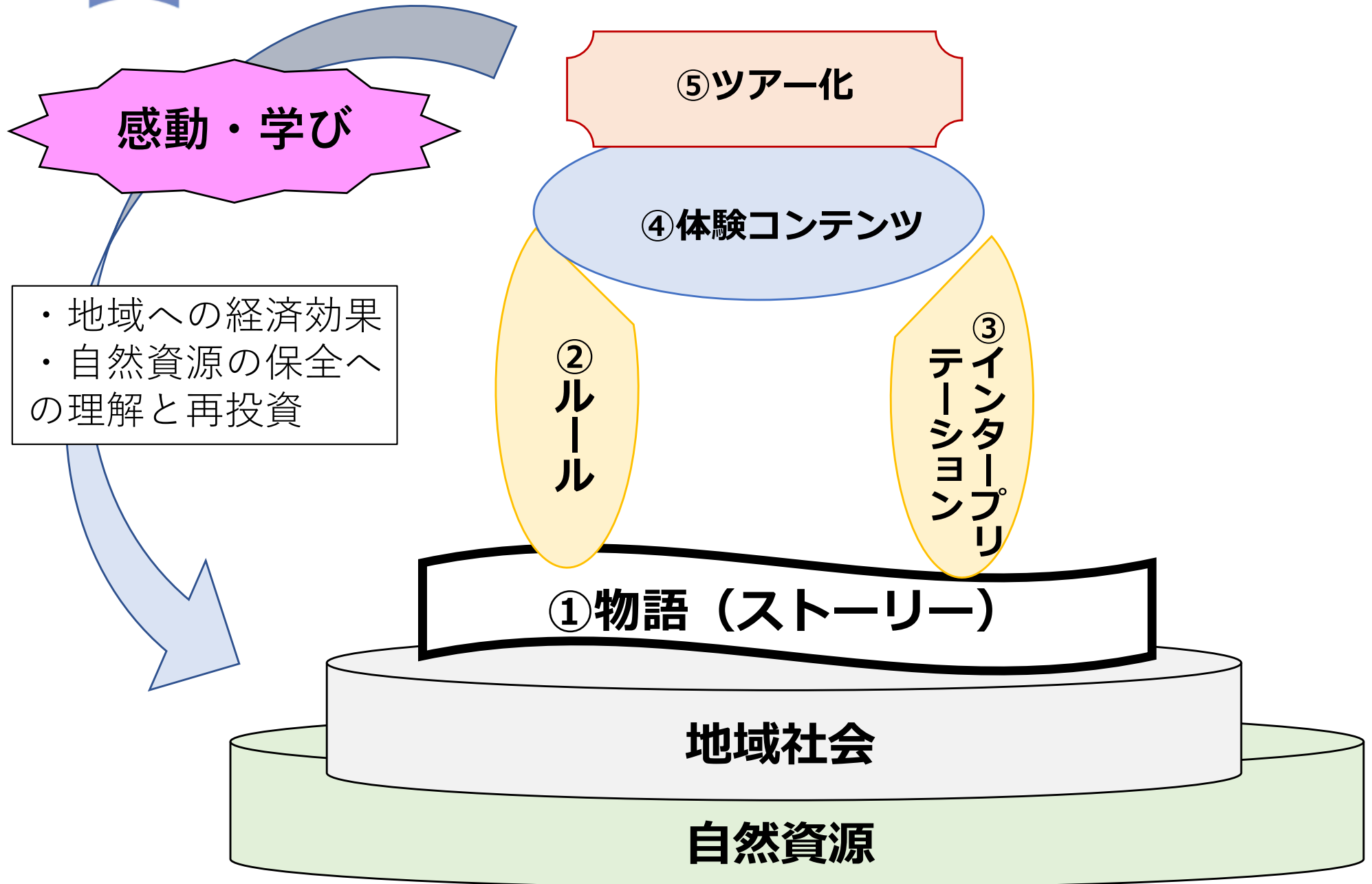
⑦集団施設地区・温泉街等の利用拠点の魅力向上を図ります。

⑧魅力的な利用施設の整備・管理を進めます。

⑨統一したメッセージ、デザインを活用し、国立公園に関する情報を広く発信し、理解拡大に努めます



上質なツーリズムによる保護と利用の好循環





インタープリテーション全体計画

- 「インタープリテーション」とは、国立公園や世界遺産、観光地などにおいて、地域の魅力や価値を、来訪者と共有するための**コミュニケーション**。
- 自然環境や風景、文化財などが持つ固有の価値やストーリーを来訪者と共有し、来訪者と地域資源との間に特別なつながりをつくるもの。
- アメリカの国立公園では国立公園ごとに**インタープリテーション全体計画**を策定

インタープリテーション全体計画の項目

- Why(なぜ) : 使命・目的
- What (なにを) : 扱うモノやコト
 - ・ 重要な資源：地域や施設が持っている、重要な資源のリスト
 - ・ テーマ：メッセージ
 - ・ 望まれる来訪者の経験：ビジターにどのような経験や体験をしてほしいか
- Who (だれに) : 利用者の類型と分析
 - どのような利用者が来ているのか、あるいは来ていないのかを整理し、ターゲットを想定する
- When Where (いつ、どこで)
- How (どうやって) : 具体的な媒体
 - インタープリテーションのメディア（媒体）をリストアップする



WEBページ：国立公園に、行ってみよう！



環境省

Ministry of the Environment

国立公園に、行ってみよう！

文字サイズの変更



▶ 環境省TOPページ (日本語 / English)

▶ 各種窓口案内 ▶ サイトマップ

▶ 本文へ ▶ NATIONAL PARKS OF JAPAN

HOME

国立公園でなにしよう？

国立公園一覧

国立公園とは

特集





WEBページ：国立公園に、行ってみよう！

国立公園ならではの体験をしよう！（コンテンツ）



📍 大分県，阿蘇くじゅう国立公園

立中山ボランティアツーリズム （保全活動体験）

多くの登山者が訪れるくじゅう連山。今回は山荘泊しながら、訪れる方楽しんでいただけるように登山道の整備をしてみませんか

トレッキング ※運動強度 中～高

ハイキング ※運動強度 低 温泉

SDGs 自然環境 エコ

野生動物 川 森林 里山

旅館 キャンプ ホテル

ファミリーで 友人と 一人で



📍 新潟県，妙高戸隠連山国立公園

～免疫力向上～妙高型クアオルト ヘルスウォーキングツアー（いもり池周辺）

妙高戸隠連山国立公園の絶景ポイント「いもり池」周辺でドイツ式クアオルト体験。妙高の自然や温泉などを活用した妙高型ヘルスウォーキングツアー

ハイキング ※運動強度 低 温泉

自然環境 森林 旅館 ホテル

友人と 春 夏 秋



📍 秋田県，十和田八幡平国立公園

冬の大自然体感国立公園八幡平トレッキング

八幡平大沼の真っ白な雪を抱いたブナ原生林でスノーシュートレッキング。後生掛温泉で火山風呂や泥風呂など7つの温泉浴を楽しめます。

スノーシュー

トレッキング ※運動強度 中～高 温泉

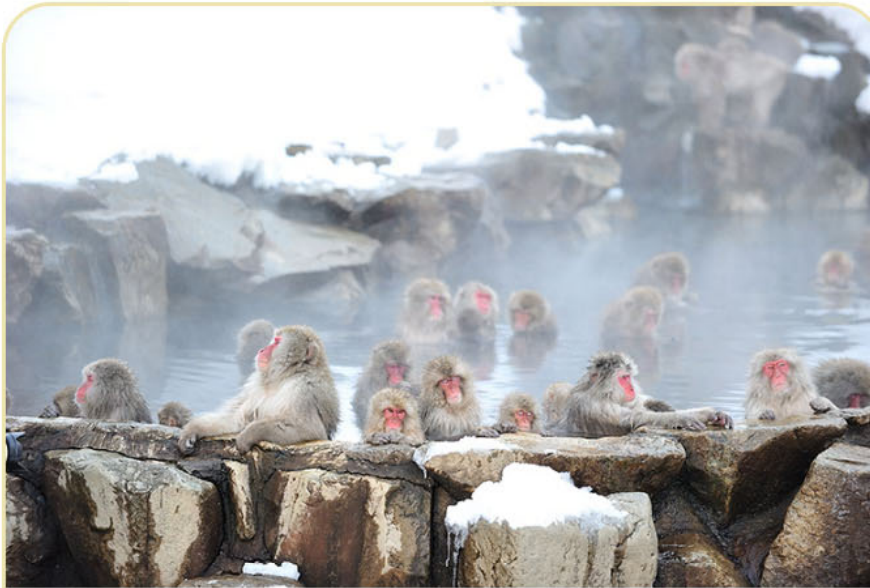
自然環境 植物 森林 旅館

ファミリーで 友人と 春 冬



WEBページ：国立公園に、行ってみよう！

国立公園ならではの体験をしよう！（モデルコース）



6月～10月

2泊3日

上信越高原国立公園

火山活動が織り成す自然の魅力と、動物までも癒される温泉文化

モデルコースを見る



5月中旬～10月

2泊3日

妙高戸隠連山国立公園

山岳信仰と数々の伝説が伝わる妙高の、自然の中で人々が培ってきた文化の探訪

モデルコースを見る

モデルコースの
テーマ



WEBページ：国立公園に、行ってみよう！

国立公園で旅をしよう！（モデルコース）

妙高戸隠連山国立公園

山岳信仰と数々の伝説が伝わる妙高の、
自然の中で人々が培ってきた文化の探訪

2泊3日の
モデルコース

- 妙高戸隠連山国立公園
- 特徴
- 見どころ・施設
- 妙高戸隠連山国立公園でなにしよう？
- おすすめのコース
- アクセス
- 利用上のマナー

モデルコースの ストーリー

ストーリー

火山・非火山の山々が織りなす個性的な山容や水の恵みの中に、古くから山岳信仰が育まれてきた『妙高戸隠連山国立公園』。

一般には入山できない霊山・妙高山で、登山ガイドから山岳信仰のストーリーを聞きながら修験道を疑似体験します。山岳信仰の中核であった関山神社ではその神聖さと、まるで妙高山の景観を写したと言われる宝蔵院の庭園を巡ります。

また、日本神話「天岩戸伝説」が伝えられた戸隠神社では、修験者の巡礼ルートでもある戸隠古道を歩きながら、神秘の森に広がる忍者伝説の歴史にも触れます。

最終日は、伝統産業や山の恵み・雪の多さを活かして育まれてきた人々の暮らしを聞き、サイクリングで里山を巡ります。

※ 天候や体調が悪い時には無理をせず、余裕をもって、計画を立てましょう。

DAY 01

国立公園ならではの魅力・体験

登山ガイドから山岳信仰の話を聞き、妙高山の山岳信仰の歴史、特に妙高山の修験道を知りながら登山を体験する。

13:00	上越妙高駅
13:30	関山駅
14:00-15:40	霊峰・妙高山の霊宮「関山神社」で修験の足跡をたどる
16:00	夕食温泉
宿泊地	夕食温泉

DAY 02

国立公園ならではの魅力・体験

登山ガイドから妙高山の山岳信仰の歴史を聞きながら、妙高山の山岳信仰の歴史を聞きながら登山を体験する。

8:30	湯沢（妙高山駅）
8:30-16:00	湯沢管内土オーダーメイド国立公園ガイドツアー 戸隠神社庭礼ハイキング
16:30	宿坊、滞在しながら里山の生活を体験
宿泊地	戸隠温泉・宿坊

DAY 03

国立公園ならではの魅力・体験

登山ガイドから妙高山の山岳信仰の歴史を聞きながら、妙高山の山岳信仰の歴史を聞きながら登山を体験する。

8:00-8:30	タナロー（湯沢駅）
8:30	まじなの温泉宿
8:30-12:00	InakaCyclingTour/いなかサイクリングツアー
宿泊地	InakaCyclingTour/いなかサイクリングツアー



みちのく潮風トレイル Michinoku Coastal Trail

2011（平成23）年3月11日に発生した東日本大震災からの復興に資するため環境省が策定した三陸復興国立公園の創設を核とした「グリーン復興プロジェクト」の取組の一つ。

環境省をはじめ、4県29市町村に及ぶ関係自治体、民間団体、地域住民の協働により、青森県八戸市蕪島から福島県相馬市松川浦までの沿岸地域で段階的に開通が重ねられ、2019（令和元）年6月9日、全長**1,000**キロを超えるナショナルトレイルとして全線開通。

東北太平洋沿岸ならではのダイナミックな海、川、里、森と連続する美しい景観とともに、自然と共にある人々の暮らし、積み重ねられた歴史・文化があり、厳しくも豊かな自然の恵みと重なり合いながらいまに繋がっている。歩く中で生まれる人と人との温かな交流も大きな魅力。



日本で最初のロングトレイル構想

—長距離自然歩道—

- 1969年1月、厚生省国立公園部は、東京から大阪までを国民が自らの足で歩いて行くことができる「東海自然歩道」の構想を発表
- 背景には、高度経済成長期の国土の急激な都市化、モータリゼーションの進行等に起因する社会的課題
- 環境庁発足後の1974年（昭和49年）7月に完成
- その後、九州自然歩道（1980年完成）、中国自然歩道（1982年完成）と続き合計9本の長距離自然歩道が完成し（北海道自然歩道は一部計画中）、10本目の長距離自然歩道として、2019年に東北太平洋岸自然歩道（通称：みちのく潮風トレイル）が完成

2024年

みちのく潮風トレイル開通5周年！

東海自然歩道全線開通50周年！

